

2008年度の放射線検査室のスタッフは、診療放射線技師4名であった。主な業務は一般撮影、造影透視、CT、MRI、骨密度測定、乳房撮影で、前年度に引き続き宇城市MRI脳検診の受け入れを行った。

#### 電子化へ向けて

2008年度の放射線検査室の第一の取り組みは、電子化の一環としてのオーダーリングシステムの導入であった。3月の稼動に向けて、医療情報電子化プロジェクトが組織され放射線検査室からも2名が参加した。プロジェクトの下で病院見学、マスタ作成、院内説明会、院内デモを経て特に大きな問題も発生することなく稼動することができた。

オーダーリングの稼動を機に業務の効率化を図り、患者満足度や、院内他部署へのサービス向上に役立てていければと思う。

また、来年度はフィルムレスの導入を控えている。更なる電子化に対する知識の習得に努め、スムーズなフィルムレスへの移行を目指していく。

#### 能力向上

2008年度も個人の能力向上を目的に、教育プログラムに基づいて部内勉強会を開催し、院内外の研修会等へも積極的に参加した。

また、他部署と協力し泌尿器科カンファレンス、外科カンファレンス、循環器症例検討会を開催した。

来年度は新たに脳神経領域のカンファレンスを開催し、知識や技術の習得に努めていく。

#### 宇城市MRI脳検診

約226名の受診者を受け入れた。

安全かつ精度の高い検査の提供を目的に、検査前にチェックリストと問診票で二重のチェックを徹底し事故防止に努め、問題なく検診業務を遂行することができた。

来年度も引き続き検診を受け入れ、機器の有効利用に役立てていきたい。

#### 遠隔画像診断

例年通り、済生会熊本病院画像診断センターの強力なバックアップの下に順調に行うことができた、また遠隔診断対象症例を通して画像診断力の向上に努めた。

おわりに

来年度は、脳神経外科医が常勤する。これに伴って、脳神経外科領域の専門知識や技術の習得に励み、これまでに加え脳神経外科領域でも地域医療に貢献していきたい。